

ふじみ議会だより

簡素で効率的な行財政運営に

自立にむけた改革へ

【歳入】

歳入では町税が一番多く続いて、国から交付される地方交付税、町債、積立金からの繰入金、国・県支出金の順になっています。

特に町税は法人税の伸びはあるものの、景気低迷・土地の下落等から前年比1%減の25億4000万円を、また地方譲与税は国の三位一体改革に対する関係事業費等の影響から23%増の2億1000万円を見込みました。地方交付税は「三位一体改革」の影響を受けながらも、国における財源が確保されたことから、5000万円増の17億円を見込みました。財政調整基金などからの繰入金は、基金に頼らない財政運営を目指す観点から、4億5000万円余りを減額としました。借金にあたる町債は大型事業の完了（本郷保育園・境デイサービスセンター

）に伴い、前年に比べ8億円余りの減額となりましたが、地方交付税の財源振替（赤字地方債）による借入額は2億8000万円と依然高い金額です。

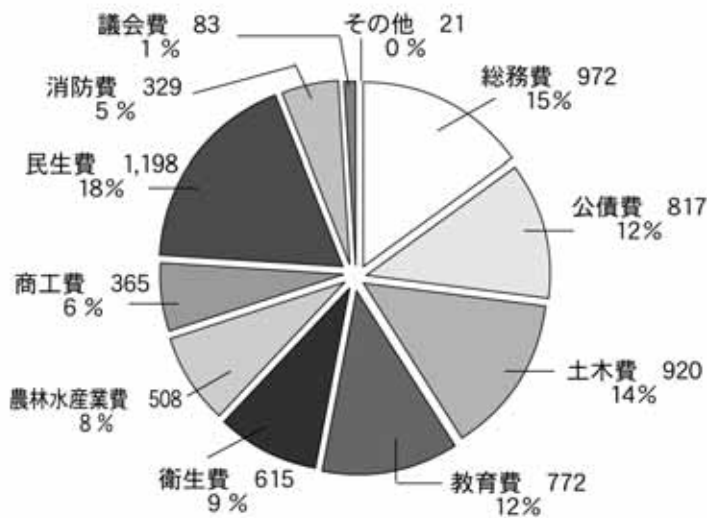
歳入合計額で、地方税・手数料・負担金・繰越金など、団体の自らの権利等により収入された自主財源の占める割合（自主財源比率）は昨年より3ポイント上がり53.1%となりました。

【歳出】

歳出は民生費が一番多く続いて、総務費、土木費、公債費、教育費の順となっており、大型事業の完了に伴う効率的な行財政を目指す緊縮型の予算となっています。主な事業をピックアップしてみました。

◎地域イントラネット整備事業

1億7000万円
行政情報等を特定した



一般会計歳出の内訳 (単位 百万円)

施設で受けられるよう整備を図ります。

◎図書館増築事業
3000万円
館内を増築し利用者の利便を図ります。

◎耐震診断事業
120万円
耐震診断とその補強工事に対する補助をします。

◎防災事業
1000万円
防災マップの作成、避難場所標識を設置します。

◎西山環状線とちの木道路整備事業
7000万円
とちの木道路を河川改修と併せて実施します。

◎下水道施設整備事業
1億5900万円
富士見処理場の増設計画を進めます。

◎障害者支援費事業
9500万円
障害者への支援を図ります。

◎広域介護保険負担金
1億3000万円
介護保険に関する負担金

◎児童手当費
7600万円
児童手当の公的負担金

◎商工業貸付金
1億8000万円
貸付金の預託金

年々増大しつつある経常的経費を見直すことにより8200万円を削減（物件費、補助費）し、経常収支比率の改善に努めるなど、効率的な行財政運営を進めています。

4月に開所した境デイサービスセンター

